全校集会前のハプニング、体育館裏で男女4人が全裸生着替えすることに

私は陸上部の3年生、松永莉奈。県大会で好成績を出した陸上部と、同じく県大会で好成績を出した水泳部は今日、朝の全校集会で表彰されることになっていた。体育館のステージに上がるのは、陸上部の私と男子リーダーの高橋悠人、水泳部の女子リーダーの山本彩花と男子リーダーの中村健太。4人とも3年生で、部活の代表として発表することになっていた。

朝、体育館に集まったとき、顧問の先生から衝撃的な話を聞かされた。「着替える場所がないんだ。体育館の裏で準備してくれ。」

「え、裏って…あの狭いとこですか？」私は思わず聞き返した。体育館の裏は隠れる場所なんてゼロだ。

「時間がないんだ。急いでくれ。」先生はそう言うと、さっさと体育館の中へ戻ってしまった。

私たち4人は顔を見合わせた。陸上部女子のユニフォームは、ピチッとしたタンクトップとブルマのセット。水泳部の彩花はスクール水着。男子のユニフォームは、陸上部がタンクトップとショートパンツ、水泳部が競泳用のビキニパンツみたいなやつ。どっちにしても、着替えるには全裸になる瞬間がある。

「マジか…こんなところで？」彩花が小声で言った。「しょうがないよ。時間ないし、さっさとやろう。」私は自分を奮い立たせるように呟いた。

「じゃ、じゃあ…俺たちからいくか。」高橋悠人が口を開いた。彼は陸上部のキャプテンで、いつも落ち着いてるけど、今は声が少し震えてた。中村健太も「まあ、仕方ねえな」と呟いて、シャツを脱ぎ始めた。

私は目を逸らしたかったけど、悠人がズボンを下ろし、トランクスが見えた瞬間、彩花が「うわっ！」と小さな悲鳴を上げた。私は心臓がドキッとした。次の瞬間、悠人が意を決したようにトランクスを下ろした。健太も続いた。

「きゃっ！」彩花が手を口に当てて叫んだ。私も思わず目をそらしたけど、チラッと見えてしまった。悠人と健太のちんちんが、完全に丸見えだった。悠人は恥ずかしそうに顔を赤らめて、慌ててショートパンツを履こうとしてたけど、健太はなぜかニヤニヤしてる。まるで気にしてないみたいだった。

「ほ、ほら、早く！お前らも！」健太が急かすように言った。私は彩花と目を合わせて、覚悟を決めた。